

ふじ 議会だより Fujikawaguchiko かわぐちこ



Vol. 70
2021.5

CONTENTS

- 今年の予算ピックアップ……………3P
- 予算特別委員会 ……………5P
- 代表質問 ……………11P
- 一般質問 ……………17P
- 議会活動報告 ……………19P
- 窓・議会見聞録・編集後記 ……20P



新しい8人の“西浜っ子”

無償化事業 継続!

一般会計予算
116億2,600万円
(前年度比8.6%減)

令和3年 第1回定例会

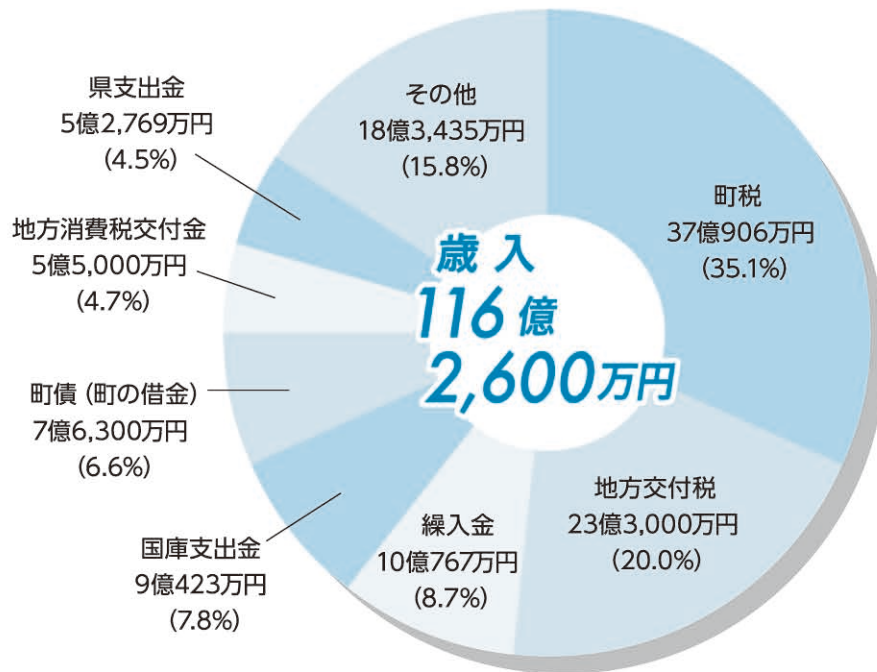
定例会の内容

令和3年第1回定例会は、3月9日に開会し、会期を23日までの15日間と決め令和3年度の予算等を審議しました。

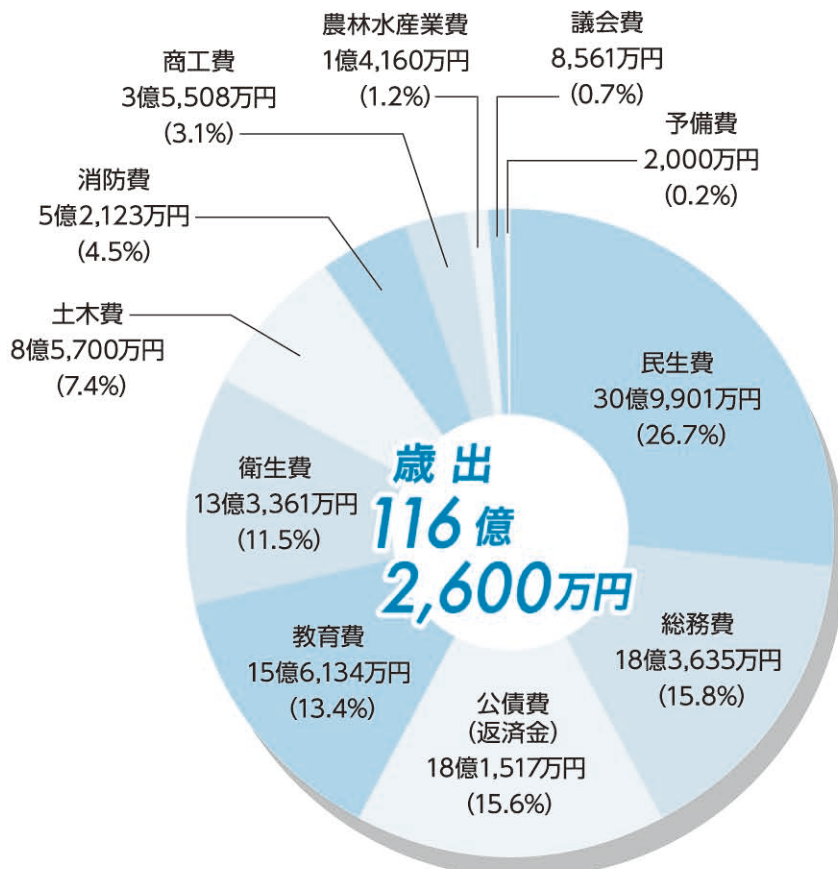
令和3年度の一般会計予算額は、前年度と比較して10億9,400万円の減額となり、歳入歳出それぞれ総額116億円2,600万円となっています。

他に、代表質問(3会派)、一般質問(2人)が行われ条例の制定・一部改正11件、同意案件3件、補正予算12件等を審議し、原案どおり可決しました。

また、令和3年度一般会計予算、31の特別会計予算、公営企業会計は、予算特別委員会を設置して集中審議を行い、すべての予算を原案どおり可決しました。



令和3年度一般会計予算の内訳



令和3年度

保育所・小中学校給食費完全

保育所・小中学校給食費 完全無償化



1億7,042万円

令和2年4月から保育所・小中学校給食費の全額を町費負担としている。

(1食分で保育所・小学生300円、
中学生340円上限。)



3月定例会では、予算特別委員会で予算案を審議し、可決しました。(P5～P10に関連記事)

その中で、議会が注目した事業を紹介します。

新型コロナウイルス ワクチン接種事業



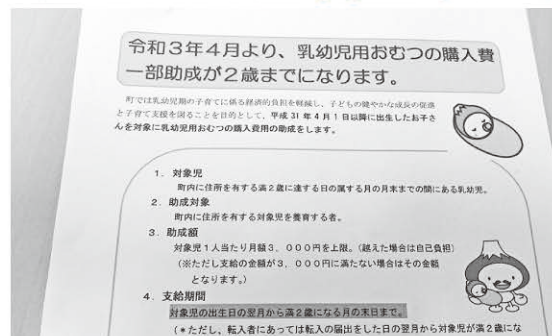
ワクチン接種会場(中央公民館)

1億6,739万円

新型コロナウイルスワクチン感染症の蔓延防止のため新型コロナウイルスワクチンの住民接種を実施する。

75歳以上の高齢者から順次実施していく。

乳幼児 紙おむつ購入費一部助成



1,300万円

乳幼児期の子育てに係る経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長の促進と子育て支援を図ることを目的として一部助成を拡充する。

(月3000円を2歳の誕生日まで助成)

登山道線道路整備事業



8,900万円

国道139号から河口湖総合公園までの舗装改良を含め、電線の地中化事業を実施していく。

小立分団 消防ポンプ車購入



1,500万円

小立分団に配備している現消防ポンプ車は平成5年度の購入であり経年劣化や老朽化が激しいため購入する。

あかつきグラウンドトイレ倉庫 整備事業

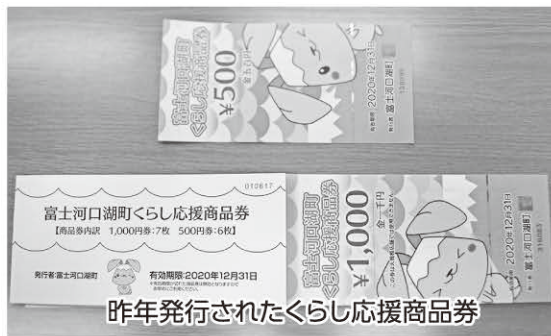


あかつきグラウンドトイレ倉庫完成イメージ

2,750万円

老朽化しているあかつきグラウンドのトイレ倉庫棟を建て替える事業
(写真のくぬぎ平トイレ倉庫と同等のものを整備する予定)

くらし応援商品券事業



昨年発行されたくらし応援商品券

1億4,782万円

令和3年5月1日現在、住民登録のある方に商品券を1人、5千円配布。
令和3年7月から順次郵送予定。

その他の注目事業

● 子ども医療費助成事業	1億0,329万円
● 子ども未来創造館を中心とした子育て支援事業	2,073万円
● 移住・定住促進事業	1,350万円
● 高齢者外出支援事業	485万円



町の予算が有効に使われるか

委員会でチェック!



令和3年度 予算特別委員会

委員長 佐藤 安子

副委員長 渡辺 武則

船津財産区

特別会計

山下利夫委員

各団体への補助金が全体として約400万円減額となっている。新年度事業執行の中、不足の場合はどのような対応になるのか。
地域防災課地域係
増額の要望があれば財産区に諮り対応していく。

富士ヶ嶺

簡易郵便局会計

小佐野快委員

会計年度任用職員が1人減っているが給与費は約100万円増加となっている理由は。
地域防災課地域係長

今年度より退職手当及び期末手当の増額が大きな理由である。

国保会計

山下利夫委員

国保税を前年比4300万円減額と見込んだ根拠は。

住民課長

2月賦課徴収時点での調

定、コロナの影響による所得割対象額の減少を考慮し約10%の落込みを見込んだ。

山下利夫委員

今年度コロナの影響で収入が減少した方に減免措置が行われているが新年度は。住民課長

今年度については国からの財政支援の基準が示されていない状況であるが基準が示され次第スピード感をもって対応する。

介護会計

山下利夫委員

コロナの影響でデイサービスの利用が制限されている方が多い。高齢者の生活活動や機能低下が懸念されるがどう考えるか。

健康増進課長

クラスターの発生予防のため苦慮している事業者が多く、また利用者自ら利用を遠慮する場合もある。

町では地域包括支援センターがケアマネへの支援としてコロナ禍におけるサービス利用者支援体制指針を作成し、指導している。

一般会計

外川満委員

町議会及び衆議院選挙費の中に、コロナ対策費が入っているのか。

総務課長

飛沫感染予防シート設置、手指アルコール消毒、エンピツの使い捨て等感染予防を行っている。

渡辺美雄委員

新築住宅建築奨励金の制度変更の理由は。

政策企画課長

これまでは40万の交付であったが変更後は基準額30万円、子ども一人について5万円（最大5人まで25万円）を交付する。改正の趣旨は本町が力を入れていく子育て支援を重視し表現する制度にしたものである。

山下利夫委員

デマンド交通の導入可能性基礎調査は具体的にどの地域を選定しているのか。

政策企画課長

どの地域を対象にしたらいいかも含めて基礎調査をする。コロナ禍でバスの利用者が大変少なくなってお

り、代わりの方法があるかなど調査する必要がある。

外川満委員

仮称マウント富士トライアスロン大会の詳細は。

政策企画課長

日本トライアスロン連合、山梨日日新聞社、山梨放送から大会開催に向けて提案をいただき、本町の新たな観光イベントとして2022マウント富士トライアスロンin富士河口湖大会として開催されればと考えている。会場は河口湖、西湖を考えている。

山下利夫委員

地方バスの路線維持補助金について路線毎の補助額は。

政策企画課長

表のとりの負担になる。

路線	R2	R3	増加率
本栖・下部	400万	674万	168%
大石	—	81万	皆増
西湖	—	113万	皆増
計	400万	868万	217%

バス路線毎の補助一覧

渡辺美雄委員

防火水槽の修繕とはどういう内容のものか。

地域防災課長

古い防火水槽が多く水漏れが目立っている。また、地主が変わり撤去を要請されることがある。

税の徴収体制は

三浦康夫委員

令和2年度現年分から令和3年度滞納分に繰越される徴収猶予の割合は。

税務課長

概ね6割から7割程度。

三浦康夫委員

できる限りの徴収をするための体制はどう考えているのか。

税務課長

現在、税務課では収納係が7名いて、収納業務に当たっている。

三浦康夫委員

収納を高めるため、法人関係を回る人を1人でも2人でも増やす予定はないのか。

税務課長

現在7名の体制で精一杯頑張っている。

三浦康夫委員

町長はどのように考えているのか。

町長

人事というのは全体を見計らった中でやっている。きめ細かな対応で現7名の体制で頑張っている。

猶予される固定資産税

山下利夫委員

コロナの特例で、固定資産税の減免申請は何件あるのか。

税務課長

申請件数は398件になっている。

山下利夫委員

徴収猶予の件数は。

税務課長

猶予の許可件数は113件となっている。

山下利夫委員

コロナ特例の徴収猶予は、新年度どのように対応していくのか。

税務課長

今後もコロナの特例とほぼ同様の形で新規の猶予申請を受け付けることとした。

継続される証明書などの発行手数料の無料化

山下利夫委員

コロナ関連の融資や貸付けなどを受ける場合に、必要な証明書の発行手数料を無料とする措置は、新年度においても継続するのか。

住民課長

6月まで無料交付で対応する。

山下利夫委員

周知はどのように行っていくか。

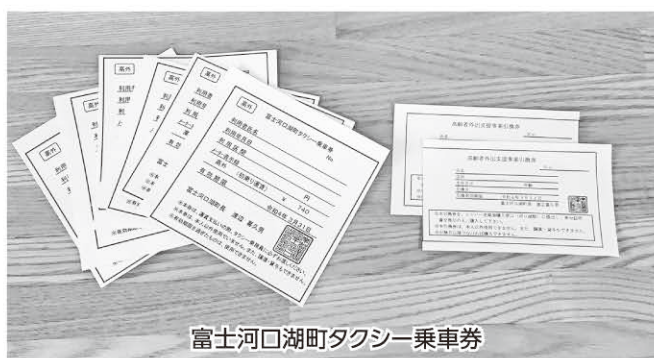
住民課長

地元の金融機関等に周知をしていく。

利用者増が望まれるバスタクシー補助

山下利夫委員

75歳以上の運転免許証を持つていない方、また、運転免許証返納者にバス定期券購入補助、またはタクシー代補助を行う事業について、対象人数は何人見込んだ予算か。



富士河口湖町タクシー乗車券

令和3年2月末実績

単位:件

地区	バス	タクシー
船津	6	93
小立	4	32
大石	12	6
河口	7	6
勝山	1	8
足和田	8	4
合計	38	149

福祉推進課長

バスが50人、タクシーが180人となっている。

保育支援システム「CoDMON」

外川満委員

新年度から本格導入される保育支援システムについて伺う。

子育て支援課長

情報通信技術ICTを活用した保育業務の効率化であり、主な機能は、子供や保育士の体温などの健康情報をスマートフォンから送信して看護師が一元管理する。保育士や子供の登園情報をシステムで管理でき、職員が指導案などの記録を紙に書いていたところをタブレット端末に置き換え、情報の一元化を図る。さらに、保育所だよりや緊急情報の配信なども可能。これにより、保育士の業務が軽減され、保護者との正確な情報が共有できる。



CoDMON



小立保育所の 駐車場拡張

渡辺美雄委員

小立保育所の駐車場拡張の日程を伺う。

子育て支援課長

地権者との交渉などの過程を踏み、登記が完了するまでに恐らく6月、7月くらいまでかかる。

ふれあい 声かけ事業

三浦康夫委員

自殺者防止対策の更なる強化を検討してもらいたい。

福祉推進課長

年1回以上ゲートキーパーとしての研修を受講し、青木ヶ原樹海のパトロールに当たっている。

※ふれあい声かけ事業

平成25年度から始まった青木ヶ原樹海での自殺防止を図るため、県から委託を受けた鳴沢村と連携をした水際対策事業。

監視員3名を雇用、365日監視、保護活動を行う。

「コロナ禍中のごみ

山下利夫議員

事業系と家庭ごみの内訳について前年度と比較して伺う。

環境課長

令和2年度、家庭用のごみは4800トン、事業系が6200トン、合計1万1000トン。令和3年度、家庭用が4800トン、事業系が7200トン、合計1万2000トンという見込み。なお、当初予算には、コロナ禍等に関する数値の見込みは一切含んでいない。

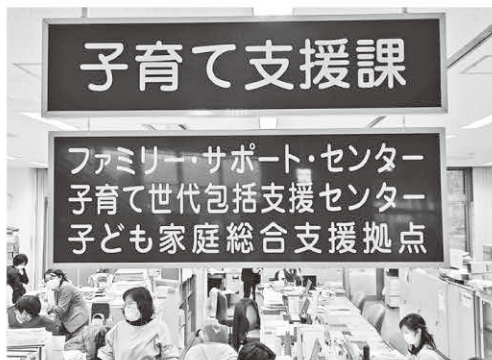
子ども家庭 総合支援拠点

山下利夫委員

子ども家庭総合支援拠点の事業内容について伺う。

子育て支援課長

地域の全ての子供、妊産婦等やその家庭に対し専門的な相談を受けるため、保健師や社会福祉士などを配置して、主に要保護児童対策協議会の主幹機関として



待機児童

山下利夫委員

現時点において、保育所への入所資格があつて、保育所に申し込んだけれども、入所ができないという児童はいらっしゃいます。

子育て支援課長

児童の家庭相談、あるいは、通報を追った事案については、およそ50世帯程度で、年々増加傾向にある。

現在、継続的に支援している家庭はどのくらいあるのか。

子育て支援課長

民間施設などでは受入れが難しいこともあるが、公立施設において、調整していきたい。

森林整備

渡辺美雄委員

森林整備について伺う。

農林課長

森林環境譲与税を活用して行う事業。私有林の整備が目的だが、意向調査した後、行政が行うべきものは計画的に整備をしていく。

今年度、森林環境譲与税は、歳入として1000万円を予定している。

渡辺英之委員

整備はどのくらい進んでいるのか。

農林課長

私有林では、整備されているところは、まだない。

渡辺英之委員

世界的状況下で、CO2を削減するために、森林の伐採が出来なくなってきた。一刻も早く、森林整備をして日本の材料を使わなければならない。また、森林整備によって、湖の保全も図られる。森林整備を是非進めていただきたい。



森林整備の状況(勝山地区)

新年度の 観光宣伝事業は

渡辺美雄委員

新年度の観光宣伝事業費と、観光宣伝広告費は、前年度に比べると。

観光課長

インバウンド客等の見込みがまだ立たないので、五ヶ国語のパンフレット等の宣伝広告費は、前年度より若干控えた予算となっている。

渡辺美雄委員

新型コロナウイルスのワクチン接種も始まる。アフターコロナに対する、次の観光戦略は。

観光課長

観光協会、観光連盟と連携し、SNSを活用した宣伝を海外にも発信していく。

西湖いやしの里根場の 保険料について

三浦康夫委員

いやしの里の保険料として80万6000円計上されているが、これは、施設全体の火災保険か。

観光課長

全国町村会の共済保険で、全棟の建物に対する合計掛け金で、店舗内の家財等は対象外となる。

避難路通行確保 対策事業補助金

三浦康夫委員

今まで6件あった避難路の危険建物で、合併支援道路の完成により4件解除されたが。

都市整備課長

合併支援道路が新たな避難路に指定されたため、旧県道の4件が解除された。残った2件については、新年度に1件分を予算計上した。

三浦康夫委員

所有者は、この補助金を使って解体するののか。

都市整備課長

今回の補助金は、あくまでも設計の補助で、解体、改修については、別の補助金がある。

もみじ回廊整備について

本庄久委員

工事請負費として計上されている130万円は、もみじ回廊と林作公園の整備事業費か。

観光課長

この130万円の予算は、もみじ回廊の整備事業費で、林作公園は、修繕費の委託で管理している。

本庄久委員

梨川の上流に向けて歩道整備の計画は。

観光課長

県の河川事業として、護岸工事に併せて歩道整備の計画があると聞いている。

新型コロナウイルスに対する融資

山下利夫委員

商工振興資金利子補助金について、従来の融資とコロナ対策融資の両方とあるが、融資を受けている事業者数と、利子補助の件数は。

観光課長

商工災害対策資金については、融資件数が31件、保証料補助が31件、利子補助が26件となっている。その他の従来からの振興資金利子補助は243件となっている。



紅葉回廊ライトアップ

野鳥の森公園の ギャラリー

渡辺武則委員

野鳥の森のギャラリーで、店舗部分が空いたままだが、今後の計画は。

観光課長

築年数が大分経過し、改修しないと募集は見込めない状況にある。当面は、トイレと展示館の管理で運営をしていく。

渡辺武則委員

小中学校の林間学校等の絶好の場所となっている。今後リニューアルで一新し、指定管理のような形に移行するようお願いする。



野鳥の森ギャラリー



住宅リフォーム 補助金の周知

渡辺美雄委員

住宅総務費のうち、耐震改修とリフォーム補助金は前年度と同様か。

都市整備課長

耐震改修、リフォーム補助金ともに前年度と同額。

渡辺美雄委員

このような補助金があることを、町民にどのような周知している。

都市整備課長

ホームページや、広報等によって行っている。

渡辺美雄委員

補助金の申請は、工事の着工前となっていて、工事中に知って断念したケースもある。この制度を知らない施工業者もあると聞く。再度、周知の徹底をして欲しい。

都市整備課長

施工業者にも周知しているが、申請者は、工事の着工前に施工業者に話してくれるような形を取りたいと考えている。

文化財 保護費に関して

山下利夫委員

文化財保護費の中に、町史編さん事業が含まれているが、新年度、どのような事業を展開していくのか。

生涯学習課社会教育係長

新年度は、町史編さんの根本となる土地の利活用の履歴をたどるための自然経路調査、遺跡の分布調査を実施予定。また、古文書等の文献調査、建造物や美術工芸品の調査も並行して実施していく予定。

山下利夫委員

調査にあたっては、事業の進捗を公表するとともに、多くの町民が事業に参加できるようにすることが大事ではないかと思うが。

生涯学習課社会教育係長

調査成果は、随時、広報等で情報公開するとともに、世界遺産富士山、郷土発見講座においても情報発信して行こうと検討している。町民参加ということから、町の風景等の古い写真の収集も進めて行きたい。

ステラシアターと円形ホール

山下利夫委員

前年度は、コロナ禍の影響でステラシアターと円形ホールでの各種イベントも中止を余儀なくされたが、新年度の予定は。

文化振興局長

恒例の富士山河口湖音楽祭は、今年、開催20年記念として8月を中心に実施を調整中。ポップス系のコンサートも県とコロナウィルス感染対策協議のうえ、4月末からの実施を予定している。円形ホールにおいても同様に感染予防をしながら、屋内演奏会を予定している。

山下利夫委員

両施設の貸館、貸出しによるコンサートや演奏会に対する方針は。

文化振興局長

ステラシアターは基本的には野外音楽堂であり、円形ホールも空調設備の改修が完了している。今後町民の音楽、芸術活動の振興につとめていく。

外川満委員

最近、ステラシアターがネット上のニュースになる。ストリートピアノ、あいみょん、MISIA等である。これは、全天候型の野外音楽堂という事が大きな要因と思うが。

文化振興局文化振興係長

基本的には野外音楽堂であり、3密にならない事。雨天の場合でも、全天候型

可動式の屋根があり、全国でも他に類似施設がない事で、今年度、具体的に考えたと考える。あわせて、当町が観光地における文化芸術の振興にも力を注いでいる事が大手音楽事務所にも共有されている事だと思う。

外川満委員

これは、長年の苦勞の成果と、ステラシアターの特性が認められた結果かと思う。これが、他の観光や宿泊につながるような事業展開をお願いする。



ステラシアター外観

総括質疑

会計年度任用職員体制について

山下利夫委員

保育士の会計年度任用職員は、全員パートタイムの7時間以内の勤務となっているが、フルタイムを検討すべきと考えるが。

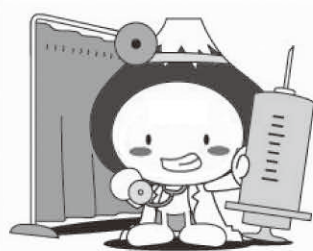
総務課長

導入する際に何年もかけて検討してきた。保育士の運用については、会計年度任用職員がローテーションを組みながら保育に支障がないようにしている。当分の間はパートタイム勤務で運用していく予定。

コロナワクチン体制は

山下利夫委員

コロナワクチン接種は、高齢者から接種を開始することになっているが、施設入所者や、病院に入院している方々は個別接種が必要と思うが、どのように対応するのか。



健康増進課長

富士北麓地域の入所者約800人に嘱託医や施設医が個別接種する予定で、入院患者に対しては、主治医の判断による個別接種となっている。

山下利夫委員

独り暮らしや高齢者のみの世帯や、障がい者などの公民館まで行くのが困難な方に対して送迎はどのように対応するのか。

健康増進課長

接種会場へ行くのが困難な方へ町内巡回バスを検討している。

協力金

支給の考えは

山下利夫委員

本会議での答弁で、来年度観光イベントを実施していくとあった。当町の経済状況の深刻さを考えると経済は動かしていかななくてはならないと思う。しかし、人が動けば感染拡大する傾向があり、そうなった場合は事業者が経済活動を止めてもらわなければならぬ。県と協力して協力金などを支給するべきではないかと思うが。

町長

その時の状況により考えていく。

もみじトンネル

駐車場

三浦康夫委員

北岸のもみじトンネル付近の崩落した駐車場は安全が確保されているのか。観光課長

土嚢を設置して使っているが、今後は別の駐車場も考えながら検討したい。

過疎債について

三浦康夫委員

合併前の上九一色村の過疎債は現在適用できないのか。

政策企画課長

合併前の上九一色村では過疎法を適用して一部過疎地域として新町に移行されている。現在、新過疎法が議論されている。要件の中では、新町の財政力指数が0.64以下であることから当町は、外れる可能性も出てきている。しかし、5年から6年の経過措置が設けられるので、過疎計画を新たに作成して申請する準備を整えたい。

※過疎債

過疎法（昭和45年施行）において、人口の著しい減少に伴い、生活環境整備等が他の地域に比較して低い市町村が策定する、過疎地域自立促進計画に基づいて実施する事業に充当される起債。元利償還の70%が交付税措置される。

令和3年度

一般会計予算の町長の思いは

渡辺美雄委員

令和3年度の一般会計予算は11億2600万円、前年度比10億9400万円、8.6%の減少予算である。税収が16.9%の減少で、大きな新規事業は削られている。この限られた予算の中で、いかに富士河口湖町を盛り上げていくのか町長の意気込みを伺う。

町長

福祉や学校教育をはじめとする子どもたちへの投資、防災関係、観光立町として観光へ配分した。新規事業だけは取り止めているが、継続している事業は計上した。これらは私の公約であり皆様との約束である。縮小予算ではあるが、町民の皆様から評価をいただけるのではないかと自負をしている。

代表質問



明日の町政を考える会

代表質問者 外川 満

代表 倉沢鶴義
堀内昭登 本庄 久 渡辺英之

追跡 コロナ禍における新年度予算

Q 令和2年度は相当の
税収の落ち込みがあ
ると聞いている。今年度
どのくらい落ち込むのか。

A 令和2年度の税収の
落ち込みは2億円程
度

税務課長

昨年6月の時点では、減
収見込み率や収納率の低
下、徴収猶予申請の見込み
額等を推測して、約5億円
の減収になると予想した。
だが、2月時点での試算で
は、町税全体では2億円弱
程度の減収になると推測し
ている。

令和3年度は9億円

令和3年度は全体で9億
円弱の減収と見込んでい
るが、固定資産税減免に伴
う約4億円分は、地方税減収
補填特別交付金により国が
補填してくれる。

観光立町の苦悶

Q 税収の落ち込みを多
く見積もっているか。

A 税務課長

当町は観光産業への依存
度がとても高い。そのため
外出自粛や時短営業の影響
が大きい。たばこ税や入湯
税の令和2年度の収入額は

前年度の同時より約10%か
ら50%近くまで落ち込み、
法人町民税も約50%落ち込
んでいる。徴収猶予の申請
や国民健康保険税等の減免
申請の数が県内でもトップ
クラスで、他の市町村より
もかなり厳しい状況。

小さな負担で最大の 事業効果を狙う

Q 9.4%マイナスの縮小
した予算編成だが。

A 総務課長

事務事業の選択と集中の
強化、経常経費の見直し、
事業の縮減と見直し等で歳
出を抑えた。歳入では、国・
県の補助制度を利用し特定
財源の確保を図り、財政調
整基金などを取り崩した。

関連質問 本庄 久

Q 子育て、教育費、福
祉への影響は。

A 総務課長

教育や福祉のような住民
サービスの直接に結びつく
事業の予算は影響がないよ
うに配慮をしている。

関連質問 渡辺 英之

Q 目的税である入湯税
への影響は。

A 水道課長

新源泉掘削に向けた基金
の積立てを始め、掘削のた
めの調査を開始する予定。
温泉使用料の減額、税の全
額免除により大幅な減収の
中でも事業は推進する。

関連質問 堀内 昭登

Q ようこそ赤ちゃん事
業等への影響は。

A 子育て支援課長

おむつ購入費助成事業は、
満1歳までを満2歳まで引
上げ、事業の拡充を図る。
不妊治療費の助成事業は、
対象となる治療を広げてい
る。国の制度と比べて所得制
限がないことや対象となる
治療が多く、好評である。

関連質問 町長

Q 人口増はこれらの施
策に因るものか。

A 町長

周りの市町村に負けない
施策を打って、人口を維

月	人口
2004年1月	23,756
2007年1月	25,757
2010年1月	25,938
2013年1月	26,329
2016年1月	26,528
2019年1月	26,464
2020年1月	26,659
2021年1月	26,708

町創立以来初めての26,700人台

	令和3年度予算案	令和2年度との差	増減
甲府市	¥75,847,780,000	¥1,417,800,000	1.9%
笛吹市	¥35,555,110,000	¥3,360,420,000	9.5%
富士吉田市	¥24,141,000,000	¥201,000,000	0.8%
韮崎市	¥14,055,000,000	¥-167,000,000	-1.2%
中央市	¥13,800,670,000	¥560,800,000	4.1%
大月市	¥11,805,000,000	¥428,000,000	3.6%
上野原市	¥10,187,310,000	¥257,010,000	2.5%
富士河口湖町	¥11,626,000,000	¥-1,094,000,000	-9.4%

山梨県内のほかの市との一般会計新年度当初予算案比較 当町の縮小が大きい

持、増加をさせていく。不
妊治療費助成事業、おむつ
用品支給事業、中学校まで
の給食費完全無償化、高校
3年生までの医療費の完全
無償化は、当然、続行して
いく。

関連質問 倉沢 鶴義

Q 観光立町の推進、災害に備えた基盤整備、教育の充実、福祉の充実、この4つの柱を反映した上で今後のかじ取りは。

A 町長

今回は緊縮財政の予算編成である。当町の規模では平常時約130億円の予算規模であるが、新年度は116億円である。ここ1、2年は我慢をしなければならぬ。我が町は80%近く観光に関連した町であり、人が来てくれないければ経済が回らない。4つの柱については、今後も精いっぱい継続していくが、新規事業に関しては、町民の皆様方にはもうしばらくの間、我慢をしていただきたい。

町民の皆様への町長の気持ちが引き出せました！



追跡 困難な状況下での観光客誘致

関連質問 本庄 久

Q 外国人の宿泊数は前年比99・5%マイナス

A どのくらい観光客が減ったのか。

A 観光課長

昨年4月から9月までの観光動向によると、日本人観光客は対前年比36・6%減少、外国人の宿泊数は前年比99・5%マイナス。紅葉まつりでは、令和元年度総来場者数34万人のうち外国人約6万人、令和2年度が16万2000人のうち外国人は1600人であった。

観光イベントは継続

Q 新年度の施策はどうなるのか。

A 観光課長

感染症の対策を行いながら各イベントを開催し、通年と遜色のないよう行っていく。ハーフフェスティバルでのスカイランタンを使用したナイトイベントも行う。

この財政危機の中でも観光立町のプライドを保つ！



追跡 25人学級導入の準備

Q 知事肝煎りの政策だが、準備と今後は。

A 学校教育課長

船津小学校、小立小学校、勝山小学校が25人学級の該当校となり、教室の確保は済んでいる。ただ、勝山小は特別教室を転用して利用し、令和4年度はさらに特別教室などを転用しなければ対応が難しくなる。25人学級は歓迎だが、増えた学級の教室確保は課題である。尚、今後の児童数の推移は次の通りである。住民基調台帳より算出した1年生から6年生までの児童数の町内8小学校の合計である。

今後の児童数の推移

令和2年	1,390名
令和3年	1,410名
令和4年	1,429名
令和5年	1,475名
令和6年	1,459名
令和7年	1,448名
令和8年	1,420名
令和9年	1,383名

関連質問 倉沢 鶴義

Q 県は大型予算を編成しておきながら、25人学級の予算は、たったの2億4千万円だけである。

A 今後の課題などあるが、県との連携はどう考えているのか町長に伺う。

A 町長

将来を担う子供たちに、よりきめ細かな教育を伝授するということ意味からも、この県の施策に同調をしていきたいが、今後教室が足りなくなった場合には、増改築などの基盤整備は、県には補助等を是非考えていただきたい。

将来の財政負担の回避する方向が確認できました！



代表質問



町民と共にあゆむ会

代表質問者 古屋 幹吉

代表 井出總一
梶原義美 渡辺武則 半田幸久

新型コロナウイルス 接種への体制と計画

Q 接種の進行予定について、接種グループごとに、1回目及び2回目の時期、場所、対象人数を伺う。

A 健康増進課長
区域内に居住する16歳以上を4グループ化し、第1グループは医療従事者等で801人、第2グループは令和3年度の65歳以上に達する高齢者で6930人、第3グループは高齢者以外で基礎疾患を有する者、高齢者施設の従事者で1683人、第4グループは1から3グループに該当しない方で1万1466人

と推定する。

接種会場として、富士北麓地域には富士河口湖町中央公民館、富士吉田市鐘山体育館の2か所。住民の利便性から近隣の接種会場を勧奨する。

富士河口湖町中央公民館は、12週のうちに1回目、2回目の接種を考慮し、週当たり提供する接種回数を算定し、平日午後4時間400人、土日1日800人を体制の目標とする。

富士ヶ嶺、本栖、精進地区の高齢者400人の皆様には、町単独で富士高原診療所の医師を中心に上九一色出張所を会場に、集団接種の体制整備の準備を始め

国からワクチン供給量の最新情報を瞬時に捉え、迅速に開始できるよう接種体制準備に努める。

Q 国が行ったシミュレーションにより確認されたことや想定と異なることは。

A 健康増進課長
予防接種に係る不安を相談するケースの問診に時間がかかった。接種後の経過観察の待機場所が密になった。所要時間が30分から40分になったなどの課題が出された。

異なる状況は、接種計画策定に当り予防接種の目標人数、期間、それから医療従事者の確保、人数の調整が難しい事、ワクチン供給量が定まらず、人材派遣の委託等の見通しがつかない。

Q 現時点での予定の中で、消防団の対応を伺う。

A 地域防災課長
協力体制ですが、具体的な内容は現時点で決定しておりません。

国からワクチン供給量の最新情報を瞬時に捉え、迅速に開始できるよう接種体制準備に努める。

関連質問 梶原 義美

Q 持病や基礎疾患のある方の確認方法や接種順番の決め方を伺う。

A 健康増進課長
問診票、予診票の中に自分の疾患を提示した中で、証明されたものとする。

健康増進課長

関連質問 渡辺 武則

Q 当町においての訓練の実施予定と、当日、発熱した場合、また急な用事等で接種が受けられなかった方のスケジュールは。

A 健康増進課長
事前運営訓練ですが、医療従事者の配置が整い次第実施する。当日やむを得ない事情により接種を受けられない場合は、その都度、再度予約センターで予約していただく。

健康増進課長

妊婦はかかりつけ医に相談することをお勧めする。国・県、町でワクチン接種に係る基本的な情報の対応は相談センターを設ける。

健康増進課長

関連質問 井出 總一

Q 台風、地震等想定外の災害が発生した時の対応を伺う。

A 町長
接種会場の中央公民館は災害時において避難場所指定されているので、町民の生命を守る意味合いから、一時中止する。

町長

ふるさと納税の 新たな対策は

Q 機構改革を行うに当たり、専門部署の体制と位置づけと、納税者や返礼品に対する思いを伺う。

A 政策企画課長
機構改革により政策企画課内にふるさと納税の専門チーム、ふるさと納税推進室を設ける。

地域資源を最大限活用することで、地域経済の発展と活性化につなげていく。ストーリーのある紹介方法により一層返礼品やサービスの価値を高め、納税者がリピーターとして当町を応援して頂きたい。

政策企画課長

関連質問 渡辺 武則

Q 目標額を設定するこ
とは重要である。ず
ばり10億円との決意を頂き
たい。

A 町長
希望的観測で10億円
という数字があるとは申し
上げたい。

Q 高額返礼品の確保と
地場産品の開発に向
けて、もう一歩踏み込んだ
考えを伺う。

A 政策企画課長
共通返礼品制度を活
用し高額返礼品を含め幅広
く対応する。町内の金融機
関とのミーティングを通し
事業所の情報を頂き、商工



町内ゴルフ場利用券(返礼品)

会と密に連携し、地場産品
の発掘と、きめ細やかな対
応に努める。

広域のゴミ処理場の
推進状況は

Q 今年に入り、富士北
麓・東部地区ごみ処
理広域化推進協議会が設置
されるが、この協議会の設
置目的、協議内容、決定事
項を伺う。

A 環境課長
令和2年11月9日、
富士北麓・東部地区4市2
町6村、計12市町村で、ご
み処理施設を西桂町小沼、
米倉地区に整備することを
決定し、基本合意の締結を
行った。令和3年1月25日
開催の富士北麓・東部地区
ごみ処理広域化推進協議会
設立準備会市町村長会議に
おいて、協議会の体制、協
議会の事業計画、協議会の
予算、一部事務組合設立ま
でのスケジュール案等につ
いて協議を行い、本年、令
和3年4月8日に富士北麓
・東部地区ごみ処理広域化
推進協議会設立総会の開催
が予定をされている。

Q 来年度において県知
事の許可を得るよう
取り組む推進協議会で決定
されることが想定される内
容を伺う。

A 環境課長
一部事務組合設立
へ、組合の名称、組合議員
数、市町村の負担金の割
合、管理者、監査員等の役
職等の協議を行い、規約等
の整備を令和3年12月まで
に関係市町村において議決
を経て、令和4年1月一部
事務組合設立許可申請を山
梨県に提出をし、設立許可
をいただく。

令和4年3月組合議員の
選出等の一部事務組合設立
のために必要な事項を議決
し、令和4年4月より一部
事務組合として事業が始ま
る。

Q 青木ヶ原衛生センタ
ーの改善は考えてい
るか。また、近隣地域を含
めた組織改革を考えている
か。

A 町長
西桂の焼却場が具体
的に動き出した場合、し尿
の話が出てくるというよう

に想定をしている。その時
こそ、青木を使うようにと
いう主張をして参りたい。
これは、今まで長い歴史の
中で関わってきた鳴沢村や
富士河口湖町の権益を守る
という大事なこともある。

くぬぎ平スポーツ公園の
運営と地域振興について

Q 天然芝のスタンドつ
きサッカーグラウン
ド、サブグラウンド、そし
て、今回整備された人工芝
の多目的運動場が整い、魅
力的なスポーツ公園になっ
た。現時点で決まっている
イベント、また、問合せを
伺う。

A 生涯学習課長
4月3日、4日の中
学生サッカー、県内外強豪
チームによる完成記念大会
を皮切りに、4月25日に
は、日本サッカーの強化発
展のため、関東地区トレセ
ン、8月には第52回全国中
学校サッカー大会、また大
学生のラクロス大会、少年
野球の山日YBS杯、少年
サッカーのハーブカップ、サ
ッカー県総体、町制祭グラ

ウンドゴルフ大会、フリス
ビーを使った競技アルティ
メットなど、15大会ほどの
予定。問合せは、町外から
10件ほど。

Q 運用再開に伴い、宿
泊業の厳しい状況を
打開する官民共同の取組を
伺う。

A 生涯学習課長
町内の多くの観光宿
泊施設の活性化に結びつけ
られるか、地域住民、観光
連盟、観光協会、民宿組合
等宿泊業の皆様と組織を立
ち上げ集客に向けて取り組
む。

関係質問 井出 總一

Q くぬぎ平のサッカー
場をサッカーのメッ
カへの、意気込みを伺う。

A 町長
宿泊施設へ泊まって
いただき、15年、20年前の
ように子供たちがこの町を
闊歩するようなものに復活
をさせたいというのが願い
で、一番大きな目的であ
る。それによってこの地域
の活性化を図るという目的
である。

代表質問



町民クラブ

代表質問者 渡辺 美雄

代 表 三浦康夫

新型コロナウイルス感染症対策と経済対策

Q 昨年から続くコロナウイルス感染症は観光を基幹産業としている当町にとって、影響は甚大である。コロナ禍において疲弊した地元の観光業や経済の再生と、経済対策をどの様に進めるのか。

A 観光課長
本年8月に、5000円／人の商品券配布による経済対策を計画。また観光関連は、関係機関と共に営業活動を行う予定。

Q コロナの収束を見越したイベントとして、どのような趣向を凝らした内容を検討しているか。

A コロナの収束を見越したイベントとして、どのような趣向を凝らした内容を検討しているか。

Q 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

A 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

Q 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

A 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

Q 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

A 町独自の感染症対策チームをつくる事で、安全な観光地としてPR出来るようになるが、所見は。

Q 当町の湖4湖を清潔感のある観光地にする事は大事である。将来に向けて富士山と湖の自然環境を護る為の取り組みは。

A 環境課長
自然環境の保全は重要な責務。今後も町の美化活動に加え、防犯面の改善にも取り組んでいく。

くぬぎ平スポーツ広場、人工芝化の経済効果について

Q この度の総額7億円をかけた人工芝へのリニューアル工事により、観光も含めた経済効果は。

A 生涯学習課長
全国中学校サッカー大会等の開催予定があり、昨年度を上回る来場者と宿泊客が見込める。リニューアル工事により当町の観光振興と経済活性化に貢献する施設となる。

Q 人工芝化により正式の開催は難しくなったが、地元少年野球チームに対し代替場所の確保及び、公園の地域行事への活用はどの様に対応するのか。

A 生涯学習課長
町内には、町民運動場・鐘突堂スポーツ広場・あかつき高原グラウンド

Q この度のリニューアル工事によって、使用料も値上がりすると聞いている。小立地区のスポーツ少年団や老人クラブ等が利用する場合、小立財産区と町とで交わした申し合わせ事項との兼ね合いをどの様に考慮するのか。

A 生涯学習課長
町内65歳以上の団体が使用する場合以外は、全て有料。小立地区のスポーツ少年団や老人クラブにおいては、使用日を優先的に予約できる。

Q この度のリニューアル工事によって、使用料も値上がりすると聞いている。小立地区のスポーツ少年団や老人クラブ等が利用する場合、小立財産区と町とで交わした申し合わせ事項との兼ね合いをどの様に考慮するのか。

A 生涯学習課長
町内65歳以上の団体が使用する場合以外は、全て有料。小立地区のスポーツ少年団や老人クラブにおいては、使用日を優先的に予約できる。



完成記念式典の様子



完成した くぬぎ平スポーツ公園人工芝運動場

自治会未加入者と加入率増加の対策を

Q 当町の人口並びに世帯数はここ数年増加

をしている。その一方で自治会への加入者は徐々に減少し、加入率は現在49・45%となっている。未加入者の増加や、それに関連した諸問題にどう対応していくのか。

A 地域防災課長
転入者に対しては、加入のメリットを記した手引きを配布し、各地区からの意見も聞いている。

Q 現に未加入者であっても育成会への補助金等により、子供達から間接的に恩恵を受けている人達は大勢いる。共助の場でもあるのに、年輩いたと言つて辞める人も出てきている。これが現状である。自治会のシステムそのものの改革も含め、町の主体的な取り組みを期待する。

A 地域防災課長
活動内容や自治会費・高齢化と、地区によって課題は異なっているのが現状。各地区の皆さんと協議しながら解決を図りたい。

Q 財政逼迫のなか公共施設の活用について、未利用な公共施設の現状と再利用への考えは。

A 総務課長
施設は区分に基づき管理保全している。未利用施設の主なものは、旧西浜中学校などの学校施設や旧保育所などがあり、施設への問い合わせに応じて紹介をしている。

Q 旧船津保育所の今後の活用方法は。

A 総務課長
活用方法が決定し

公共施設等総合管理計画について

Q 自治会問題について、地域振興協議会を使って取り組む予定は。

A 政策企画課長
地域振興協議会の中でも協議をしていきたい。

ところで、解体やリニューアル工事を行う。

関連質問 三浦 康夫

Q 東京などから企業移転等の問い合わせがあると聞いている、どのように進めているのか。

A 政策企画課長
ここ1・2年ではスポーツ関連やその他各施設、事務所などの相談があり対応をしている。

主な未利用公共施設



旧精進小学校



旧船津保育所



旧上九一色中学校



旧西浜中学校



Q 災害時支援が必要となる要支援者たちが安心して避難できる福祉避難所の整備状況についてと、特に、ふじざくら支援学校の協定はどうなっているのか。また、災害時コミュニケーションが取りにくくなる要支援者のために、要支援内容がわかるスカーフやベスト、また、コミュニケーション支援ボードなどの整備を。

A 地域防災課長 当町は13の施設と協定を結んでいて、飲料水と備蓄用食料を配備している。ふじざくら支援学校との協定は、協議を進めている。隣接の富士ふれあいセンターとは協定済みで、富士ふれあいの村全体で再検討すべきとの課題もある。災害時のコミュニケーションツールは個人情報にも配慮し、精神的にも負担にならない方法で表示することを検討する。コミュニケーション支援ボードは外国人観光客にも役立つものと思うので、整備を進めたい。

高齢者、障がい者の命を守る防災対策を



一般質問者 佐藤 安子

子育て世代へ支援の強化を

Q 令和2年度中に設置される予定の「子育て世代包括支援センター」の今後の取組みと支援メニューを具体的に伺いたい。

A 子育て支援課長

国は相談支援の機能強化を求めているが、専門職を新規雇用することは大変難しい。まずは、SNS等を活用した相談支援として、産婦人科、小児科、オンライン医療相談事業を委託事業として行う。また、子育て支援課内での相談体制をより厳密にし、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が相互に補完・連携していく体制を構築。支援メニューとして、産後ケアセンターの利用対象を、産後4ヶ月までを1歳までの母子に拡充。集いの広場の助産師相談の拡充。妊婦相談、新生児訪問や4ヶ月健診時に助産師の紹介や町内助産師が行っている産前産後のケア

サービスを紹介するリーフレットの配布など、これまでに以上に助産師との連携を図っていく。



つどいの広場 双子ちゃん親子集まれ

一人1台端末による新しい学び

Q 全国の小中学校、特別支援学校などで1人1台端末と高速通信環境が整備され、4月から新しい学びが可能になる。これから学校の授業はどう変わるのか興味深いものがあるが、当町の全小中学校の端末を使った授業などの今後のスケジュールを伺う。また、今後、学校へ通うこと

ができなくなつた場合を想定した準備が必要だと思うが。

A 学校教育課長

現在、情報端末の使用に関するルールづくりを進めている。4月からこれまで積み重ねてきたプログラミング学習などICT機器を活用した授業の継続と充実を図り、新たな学習分野や場面を各学校において開発するよう働きかけている。情報端末の学校から家庭への持ち出しについては、使用方法など考慮する中で検討し、段階的に非常時に家庭でのオンライン学習が行われるよう努めていきたい。



その他の質問
新型コロナウイルスワクチン接種体制について



みんなのギモン?
一般質問
一般質問者 山下 利夫

感染対策とワクチン接種を同時並行で

Q 12月から1月にかけて、富士河口湖町でもコロナウイルス感染者が急増する事態となった。収束に向けて期待されるワクチン接種が始まっているが、集団免疫ができるまでには一定の時間がかかること、副反応への不安から接種を希望しない方もいることなどから、ワクチン接種と感染対策を同時並行で進めていくことが必要。

特に、コロナ感染者の多くは無症状であり、感染拡大を防ぐには、PCR検査など社会的検査の実施が重要。感染への不安が大きい高齢者施設などでの定期的

な社会的検査を検討すべき。

A 健康増進課長
PCR検査は鋭敏な検査のため、偽陽性が出る可能性はある。検査数を増やすと陽性者が増えるため、医療体制の負荷などについて保健所と相談する必要がある。感染予防のために重要なことは、感染経路を遮断するとともに、集団免疫を作っていくこと。ワクチン接種が、高齢者施設の職員にも、早期にできるよう検討する。

Q 偽陽性は精度管理によってほぼ防げる。検査数を増やして無症状の

感染者を早期に発見してこそ、医療機関の負荷を抑えることができる。少なくとも、感染拡大の兆候が見られた場合、速やかに社会的検査の実施の体制を作っておくことは必要。

A 健康増進課長
感染拡大防止や医療体制の逼迫予防のために、町民への感染防止対策の徹底のよびかけとともに、検査体制の充実について、保健所と連携していく。

コロナで収入が減り生活が困難な方に給付金を

Q 「ホテルのバイトのシフトが激減し、収入が大幅に減少。休業手当も出ない」などの声がある。非正規雇用やフリーランスの方などで、生活が困難になっている方への給付金を。

A 福祉推進課長
町民1人5000円の商品券を配布する。町独自の給付金の実施は、町の財政状況から困難である。

国保税の引き下げを

Q 平成30年度の富士河口湖町における1人あたりの医療費(約31万円)は県内で2番目に低いが、国保税額(夫婦と子ども2人、総所得300万円、固定資産税5万円の世帯で約49万円)は13番目の金額。国保税の引き下げを。

A 住民課長
平成30年度、国保制度改革のなかで、国保税率引き下げを行い、基金などの活用により、現在まで据え置いてきた。コロナ禍のもと、国保税収入の減少も見込まれることから、新年度の税率も据え置く。

富士山登山鉄道構想案への見解は

Q 県が発表した富士山登山鉄道構想案によれば、スバルライン上に路面電車を敷設する案が優位としてしている。しかし、20km以上の連続勾配走行や極低温化での走行事例はないことから、安全確保のための

技術的な問題、事業費試算1400億円としているが、技術面への対応によりさらにふくらむ可能性がある問題、環境への負荷の検証が十分でない問題などが指摘されている。地元自治体である町長の見解は。

A 町長
観光立町の町長として、観光客を増やすということならば、賛同する。事業費試算1400億円に対し、往復運賃1万円で年間300万人の人が訪れる試算とのことから300億円になり、経済効果も高い。しかし、これ以上世界遺産の富士山を傷つけていいのかという思いもある。また、この構想案検討メンバーに地元首長が1人も入っていないことを懸念している。



「小規模町村における自治・議会のあり方」と題して、講師、山梨学院大学法学部教授 江藤俊昭氏によるセミナーに参加し、町村議会をめぐる危機と打開の視点で、議会改革の必要性及び議員のなり手不足の解消の方途としての住民と歩む議会、住民福祉の向上に貢献する議会の創造について丁寧に説明があり、見識を深めました。



町村議会議員セミナー
〔令和3年2月1日開催〕

1月から3月までの議会の動き（一部掲載）

1月

- 4日 富士河口湖町安全祈願祭
- 10日 成人者の集い
- 18日 議会広報常任委員会（初稿）
- 21日 議会広報常任委員会（2稿）
- 25日 議会広報常任委員会（最終稿）

3月

- 1日 議会全員協議会
議会運営委員会
- 9日～23日 町議会定例会
- 24日 鳴沢・富士河口湖
恩賜県有財産保護組合議会
河口湖南中学校組合議会
- その他財産区管理会・各種委員会等20回の
会議に出席

2月

- 1日 山梨県町村議長会町村議会議員セミナー
- 9日 青木ヶ原ごみ処理組合議会
青木ヶ原衛生センター議会
- 17～18日 富士五湖広域行政事務組合議会
- 18日 山梨県町村議長会議長会議
- 23日 富士山の日フェスタ2021



富士山の日クイズフェスティバルの様子

公開します 議員の賛否

審議した議案とその結果



上程議案・概要・結果	結果	古屋 幹吉	渡辺 英之	本庄 久	半田 幸久	外川 満	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快	梶原 義美	堀内 昭登	井出 總一	三浦 康夫	倉沢 鶴義
賛成：○ 反対：× 討論：討 欠席：欠 全賛：全員賛成で可決・認定・採択 賛多：賛成多数で可決・認定・採択																	
富士河口湖町介護保険条例の一部改正	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度富士河口湖町一般会計予算	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※他の議案等については、全員賛成で可決・採択されました。



伝統工芸品・大石紬を身近に感じていただけるように

大石紬手織工房／大石紬保存会代表（元・大石地区地域おこし協力隊） 栗林 茜



2018年3月に地域おこし協力隊に就任してから早3年経ち退任した現在、地域の皆さまのご協力の元、養蚕・座繰り・草木染め・織りと一通りの基本を覚えることができました。これからは、自宅工房で更に技術を向上させる努力をしながら、大石紬伝統工芸館では現在の大石紬に繋がる甲州唐糸織などの歴史的な織物の再現もしていきたいと考えています。

他にも、伝統工芸品を新たな視点で見直して多くの方に手にとっていただけるよう、大石紬を使った製品や、養蚕で蚕が葉っぱを食べた後の桑の枝の繊維から和紙を大石紬と同じく山梨県の郷土伝統工芸品である西嶋和紙と協力して作っていただく予定もあります。また、大石や富士河口湖町周辺で連綿と受け継がれてきた養蚕や手織物の歴史を途切れさせないために、私一人では出来ないことを周囲の方々に頼りながら「大石紬保存会」を立ち上げました。今後は「大石紬保存会」を通じて、大石紬に関心を寄せていただける多くの方々に、より身近に大石紬に接していただける機会も作っていく予定です。皆様お一人お一人のご関心と積極的なご協力をお寄せいただければ幸いです。

身近な議員が議場で質問に立つとのことで、知人と連れ合い議会を傍聴することとなった。傍聴席に座り、議場を見渡すと、張り詰めた空気を感じた。町長をはじめとした役場側も手前に陣取る議員側も全員揃っているようだが、時間が来るまで皆一言も発せず、静かに時が来るのを待っている。その雰囲気には一種の威厳のようなものを感じた。

「定刻になりました。皆さんで互礼をしたいと思います。」

突然、議長のよく通る声が静寂を破った。こちらの緊張感もピークに達した。「こんな中で議事が進むのか」と胸の中でつぶやいた。

議会 見・聞・録



さて、私のそんな思いとは全く関係なく、質問者は威勢よく話し始めた。先程来の緊張感のお陰で集中力が増し、発せられる言葉が素直に頭脳に入り込んでくる。内容がはっきりわかり、手応えのある議会傍聴が出来た。

印象的だったのは町長である。細部にわたり町政について研究していることがよくわかった。それは、答弁の様子からそう思ったのであるが、何のメモも見ずにすらすら答弁をしていたのは聞いていて気持ち良かった。もちろん、個人的には町政への理解も深まったが、飽きることなく最後まで楽しめた（失敬）のは、やはり、最初に感じた議場でしか味わえない緊張感からかもしれない。（外川 豊秀）

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は6月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



●議会広報常任委員会
委員長 小佐野 快
副委員長 外川 満
委員 古屋 幹吉
渡辺 英之
半田 幸久
渡辺 武則
佐藤 安子
梶原 義美

今回の議会だよりが、みなさんのお手元に届く頃には、当町でも新型コロナウィルスワクチン接種のコールセンターが開設され、高齢者の方々から、いよいよワクチン接種の予約受付が開始されることでしょう。予定通りの量のワクチンが、供給されることを願うばかりです。さて、今回の議会だよりは、新年度予算の概要と予算特別委員会での審議内容、代表質問と一般質問が主な内容になります。代表質問では、新たな会派が結成され3会派での質問となっています。やはり、質問内容は、新型コロナウイルス関連の質問が多く出されています。より多くの町民のみなさまに、議会に関心をもっていただけるよう、質のある質問を続けて行くことを期待しています。（渡辺武則）

編集後記

議会だより ふじかわでさい Vol.70
2021.5

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167